

第9回TTCスペクトル管理SWG議事録

1. 日時: 2004年3月26日 13:50 ~ 18:40
2. 場所: TTC事務局4F DE会議室
3. 出席者:
 - 3-1. 出席会員数 / 全会員数 34 / 53 (出席数には議長委任状16を含む)
 - 3-2. 出席委員数 / 全委員数 49 / 81 (出席数には議長委任状17を含む)
以上により会議成立
 - 3-3. 議長: 池田佳和 (SWGリーダー)、副議長: 林明、松本一也、吉井伸一郎 (サブリーダー)
4. 会議資料: 寄書リスト
5. 議事要約
 - 5-1. 議事録担当: 長野県協同電算
次回議事録担当: TOKAI
 - 5-2. 会社名変更のお知らせ
グローブspanピラータ } 3月1日から
コネクサントシステムズ } コネクサントシステムズ
 - 5-3. 議事次第
 - ・「計算システム構築アドホック第1回会合議事録」の提出元は「計算システム構築アドホック議長」に訂正。
 - 5-4. 遅延寄書の取り扱いについて
 - ・会員各社での社内検討の時間をとるため、寄書提出期限を厳守することを再々度要請する。
 - ・今回は、遅延寄書については時間が許せば審議の対象とする。
 - 5-5. 第8回議事録[SMS-09-01]およびスペクトル適合性確認結果報告書[SMS-09-02]承認された。
 - 5-6. 課題表の確認[SMS-09-03]
 - ・5章) 課題経過を赤字で、2章) JJ100.01第3版に向けての検討中の課題。
 - 5-7. システム名称の取り扱い[SMS-09-04]
 - ・本寄書は、TTCおよび会員のIPR関連リスクを回避するため、TTC理事会の方針が出るまでの対応を提案している。
 - ・JJ-100.01D章に含まれる標準化されているシステムは、システム名称をそのままを使用する。
 - ・標準化されていないシステムは、提案元(申請者)の会社の名前とその結果をこれまで同様に適合性確認結果報告書に記載する。
 - ・JJ100.01D章に標準化されたシステムだけを載せるのは反対、次回以降寄書で提案する。(パラダイン)
第3版を作成する上で検討する。
 - 5-8. 計算システム構築アドホック第1回会合議事録 報告[SMS-09-05]
 - ・寄書説明(計算システム構築アドホック議長)
 - ・ソースコード公開すると高くなるのか、今後のアドホック会議で調査検討する。
 - ・まず第2版のクロスチェック機能を最低限実現すること。次のステップとして予算内で第3版、およびそれ以外の機能を検討する。
 - 5-9. ハムバンド要件を満たすようLD-TIF1およびLD-TIF2を修正[SMS-09-06]
 - ・スペクトル適合性確認結果報告書の改版時に反映する。
 - ・G.BOOSTについてはコネクサントでPSD作成中。
 - 5-10. スーパー上リクワッド(SUQ)、EU-G2クワッドのスペクトル適合性について[SMS-09-07]
 - ・ADSL速度が出すぎていることの確認とクロスチェックをする。
 - ・SUQは、通常のADSL上り帯域は使わない。
 1. 1MH以上のバンドプラン、計算方法の検討を第3版まで待てるかどうか含めて次回以

降具体的に検討する。

5-11. B章に関わる追加情報[SMS-09-08]

- ・B章アドホック会議内で線路のR,L,C,G計算値の例示が要請されたので、情報提供する。
- ・住友電工のクロスチェック結果も、すべて一致した。
- ・第3版でB章をどのように変更するかは(アドホック会議ではなく)本SWGで検討する。

5-12. ISDNのカッド内収容状況について[SMS-09-15] / [SMS-09-16]

- ・換算線路長2.7km以遠810 を超えてもISDNの2Wは存在する。
- ・ループ抵抗が810 を超えた場合の給電方法は、まず2Wで接続し、接続できなかった場合のみ4W化する。追加2Wは同一カッドに空きがあれば同一カッドを、空きがなければ別カッドを使用することが多い。
- ・ISDNのサービス提供条件およびループ抵抗が810 を超えた場合の給電方法は、個々のケースによる。
- ・2.7kmの線路長は160kHz損失での換算値である。

5-13. 下記三点について議論することを提案する[SMS-09-09, SMS-09-10, SMS-09-11, SMS-09-12, SMS-09-13]

- ・概要のみ紹介

5-14. JJ 100.01(第3版)に関する検討の進め方[SMS-09-17]

- ・次回のスペクトル適合性確認結果報告書の改定で「線路長」に修正する
- ・(ア)の2項目のような隣接カッド収容を除くISDN回線の収容は行っていないとNTT東から指摘があった。

第3版をまとめる際に集約する。

5-15. 第8回SWG確認事項(検討事項)の整理[SMS-09-18]

5-16. JJ-100.01第3版検討課題に対する意見[SMS-09-19]

5-17. 保護判定規準値の決め方について[SMS-09-22]

- ・寄書説明のみ、審議は次回とする。

5-18. JJ100.01第3版へ向けた提案事項[SMS-09-21]

5-19. 上り拡張システムの検討について[SMS-09-23]

5-20. 上り拡張システムの扱いとJJ-100.01第2版改定について[SMS-09-24]

5-21. ADSL上り拡張システムへの異議の取扱いに関する提案[SMS-09-25]

5-22. 第3版に関する検討課題

- ・各社が記入できるシートを白須委員にて作成し、FTPサーバにUPする。そのシートを使って各社意見を集約する。

- ・第3版検討課題追加項目

保護判定基準は一定のサービスレベルを基に規定すべき

マルチゲージの問題

与干渉が4回線と1回線の違い

6. 次回以降の会議予定

本日扱えなかった寄書を次回説明したい場合は、次回も提出する。

第10回:4月15日10:00～

寄書締め切りは、

新規分:4月8日24時

寄書に対する反論等:4月12日午前10時

第11回:5月14日(金)10:00～

以上